

第191号 令和8年3月15日 発行

- 新任医師紹介
- シンポジウム発表報告
- 入院患者嗜好調査
- 災害訓練報告
- サークル活動報告（走り隊）
- 健康いきいき教室開催予定

IWAKUNI  
MEDICAL  
CENTER



地域医療支援病院

# 岩国市医療センター 医師会病院だより

<http://iwakuni-med.jp>



心ひとつに地域貢献  
～安心・安全な医療をめざして～

岩国市医療センター医師会病院  
〒740-0021  
岩国市室の木町3丁目6-12

☎ (0827) 21-3211 (代表)  
E-mail : [info@iwakuni-med.jp](mailto:info@iwakuni-med.jp)

## ご挨拶



私は古井俊文と申します。62歳です。妻と14歳のメスのトイプードルと暮らしています。消化器内科が専門です。しかし内視鏡や腹部エコーを用いた検査や治療を行いませんので一般内科医として今年の1月から当院で働かせていただいております。仕事は一生懸命にさせていただきます。

私の一番の趣味は本を読むことです。明治から昭和の作家の代表的な小説を読むことが好きです。小説を読んで物語の展開や結末に感動することももちろんありますが、私は教訓になるような文章に出会うのが好きです。そんな言葉を見つけると、自分の人生の来た道を振り返って反省したり、現在の自分の杖にしたり、将来を照らす灯りとします。そういう言葉に出会ったら青鉛筆で括弧をつけ、そのページの角を折って目印とします。そして読み終わるとスマホに書き写して保存します。私のスマホにはそうした自分の人生訓がたくさんつまっています。それらを時々見なおしたり、思い出したりしながら道を踏み外さないように自らを戒めています。これまでに大きな影響を受けた本は「縦ノ木は残った」「竜馬がゆく」「自分の中に毒を持って」「ペスト」「レ・ミゼラブル」です。これらからは、忍耐、スピード、勇気、継続、正直、の大切さを学びました。これからもいろいろな本から多くを学びたいと思います。

他に好きなことは囲碁と俳句です。囲碁は小学生の頃に父親から教わっただけで、何がきっかけか覚えていませんが、最近テレビで見るとなりました。丁寧な解説を聞くと何となく解ったような気になって悦に入っております。たまたまAIと同じ手を選ぶと思わず嬉しくなります。まだ自宅には石も盤もありませんが、将来はやってみたいと思っています。俳句もテレビで見ただけですが、素人の私でも状況が目に見えて心に感じる句に会うことがあります。そういう時にはジーンと鐘の音のように胸に余韻が残ります。私もそんな句を作れたらいいなと思っています。その他、将来こういこともしたいと思うことは、仏像や窯元の訪問、博物館や美術館めぐりです。動物園や水族館にも行きたい。退職したらゆっくりと時間をかけて叶えたいことです。

さて、私が今日あるのは言うまでもなく妻のおかげです。私の今の健康状態も全く妻のおかげです。もし妻でなかったら、若い頃から辛い物とお酒が大の好物でしたから今の私はどういう状況になっているか想像もしたくありません。妻には感謝しかありません。せめてものお礼に、いつかは一緒に温泉にたくさん行って、ゆっくりと休ませてあげたいと思っています。

私たち夫婦を癒してくれるのは愛犬です。私が帰宅すると真っ先に玄関まで駆けつけて飛びついてきます。家の中ではいつも私の後ろをついてきます。私が椅子に座るといつも乗せろとせがみます。抱えて太腿の上に乗せてやると安心するのかすぐに寝ます。動いて起こさないように私はじっと椅子に座ったまま撫でます。するとピーピーと息まで可愛らしい音です。私はこの犬を「永遠の1歳児」と思っているのですが、本当に幼子のように可愛い仕草と温もりです。遠くてなかなか会えない孫の代わりになってくれます。今は愛犬が生活の中心と言っても過言ではありません。私たちの愛犬も老いていろいろと心配ですが、いつまでも傍にいて欲しいと祈っています。

私がこの病院で働き始めて判ったことがあります。この病院には「かけ橋」というとても素晴らしい部署とその理念があるということです。それは大病院から当院へのかけ橋、そして当院からかかりつけ医へのかけ橋、の二つの「橋」です。つまり岩国や広島の大きな病院で専門的なあるいは濃厚な治療を受けた方をこの病院で引き受けるためのあいだを取り持つかけ橋。そして当院で治療を継続しながら病状を落ち着かせ、身体のリハビリとともに合併症を管理し、さらには生活指導も行った患者さんを、住み慣れた自宅や施設に戻すために様々な調整をするかけ橋です。そしてこの目的のために多くの人が専門的に働いています。専門でなくても多くの職員がこのかけ橋を自覚し、患者さんが暮らし慣れた自宅や施設に戻れるように一丸となって努力しています。だから患者さんは安心して当院で治療とリハビリに専念されたら良いと思います。あとのことは専門の職員がご本人やご家族のために一番良いように采配してくれます。患者さんにとっては素晴らしいことと思います。また、これらの仕事は当院の業務のほんの一部です。この他にも当然たくさんの方が働いています。私は既に還暦も過ぎており甚だ微力ですが、この素晴らしい病院で患者さんのためにもう少しの間、力になりたいと思います。

どうぞ皆様よろしくお願ひ申し上げます。



# 茶川院長が日本医師会主催の シンポジウムで講演されました

昨年の12月7日に日本医師会館大講堂とWeb配信のハイブリッド形式にて、「地域に根ざした医師会活動プロジェクト第5回シンポジウムこどもの救急～夜、休日、急に具合が悪くなったときには？」が開催され、茶川院長が「来院型オンライン診療～小児科医不足への一策～」という題目で講演しました。

医師不足・医師の高齢化などの課題を背景に、当院で取り組んでいる来院型小児オンライン診療について紹介しました。

## 当院の来院型小児オンライン診療について

当院では、株式会社ジェイエムインテグラルの協力のもと、昨年4月から D to P with N による来院型小児オンライン診療を開始しました。（D：Doctor、P：Patient、N：Nurse）対面診療になるべく近い環境で、遠隔聴診器を使用した聴診、カメラによる咽頭所見などを確認できる体制となっています。



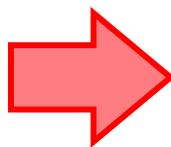
津川事務部長 茶川院長 (株)ジェイエムインテグラル  
和泉さん

厚生労働省の小児ワーキンググループで、  
当院の来院型小児オンライン診療が先進的な  
取り組みの一例として紹介されました。



### \*\* 抱えている課題 \*\*

- 小児科開業医の減少
- 医師会病院における医師の確保困難
- 高次救急医療機関における小児患者増（80%以上が軽症）
- 山口県全体における小児科医不足



不足している小児科資源を  
オンライン診療を用いて確保



このシンポジウムの模様は特設  
サイト・医師会公式YouTube  
チャンネルにてご覧いただけます

### 特設サイト

<https://www.med.or.jp/people/chiiki-pj/>

### YouTube

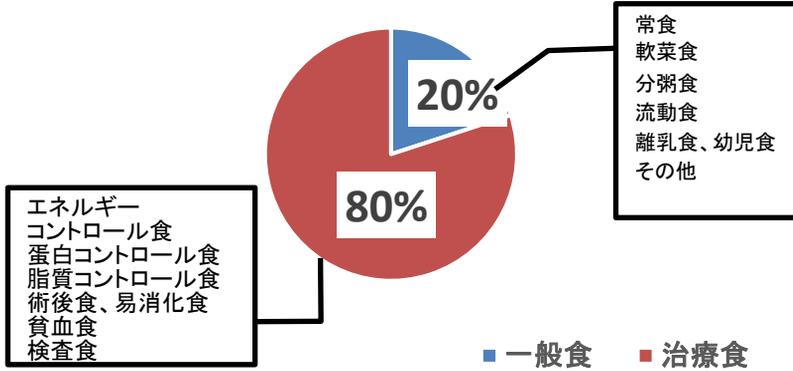
<https://www.youtube.com/watch?v=gZsHAKUEL7o>



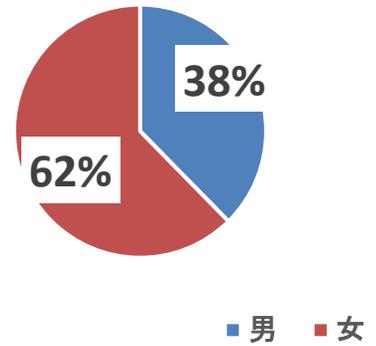
# 入院患者嗜好調査結果報告

実施日 : 2025年11月12日～11月14日  
★食事提供者数 : 138名 (一般食 : 24名 治療食 : 96名)  
★回答者 : 101名 (一般食 : 22名 治療食 : 79名)  
★回答率 : 73%

## 一般食と治療食の割合



## 男女比



今年度の回答率は73%でした。

治療食の割合は80%で高い割合で提供できています。

ご飯の炊き方については9割の方が「丁度いい」と回答されています。

ご飯の温度については9割、ごはんの量は8割の方が「丁度いい」と回答されています。

汁物の味付けについては7割、汁物の温度については8割の方が「丁度いい」と回答がありました。

おかずの量については7割の方が「丁度いい」と回答されています。おかずの味付けについては全体としては「丁度いい」と回答されています。

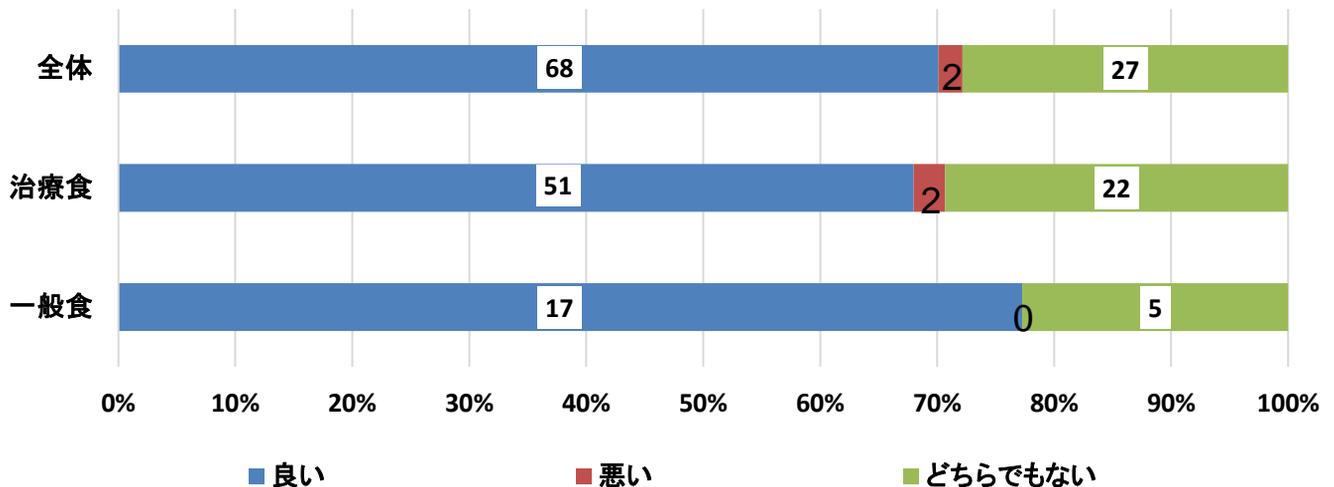
おかずの盛り付けについては全体では「食欲をそそる」の割合が多いですが、「どちらともいえない」も同じくらいの割合で回答されています。

おかずの温度については9割の方が「丁度いい」と回答されています。

献立全体の評価では、全体的に6割近くの方から「良い」と回答がありました。

今後も食材や味付けについては検討しながら引き続き献立を作成してまいります。

## 献立全般



# 災害訓練を行いました

令和8年2月24日、全職員を対象とした災害訓練を実施しました。今回の訓練は、震度6弱の地震発生を想定し、発災直後からの初動対応を確認することを目的として、約30分間にわたり行われました。大規模災害時における医療機関の役割を見据え、まずは基本となる体制づくりの確認から取り組んでいます。

訓練は発災のアナウンスの後、院内で災害対策本部を立ち上げ、本部を中心とした情報集約と指揮命令系統の確認を行いました。各部署では職員の安否確認や安全確保を実施し、あわせて建物や設備、医療機器等の被害状況を想定した確認作業を行い、その内容を本部へ報告する流れを実践しました。

院内の災害対策マニュアルに沿って実際に動いてみることで、情報伝達の方法や役割分担の理解度など、書面だけでは見えにくい課題も明らかになりました。

大規模災害時には、限られた情報の中で迅速かつ的確に判断し、組織として統一した行動をとることが求められます。

今回の訓練はまだ取り組みの初期段階にあり、想定どおりに進まない場面や、情報共有に時間を要する場面もありました。しかしながら、こうした課題を実際に体験し、職員全体で共有できたことは貴重な時間だったと思います。



今後も継続的に訓練を重ね、地域の皆さまに安心して医療を受けていただけるよう、防災意識の向上と組織力の強化につながればと考えています。

# 岩国人絹町しろへび駅伝大会

岩国医師会走り隊 令和8年2月15日

2月15日、今年も定例行事のしろへび駅伝に参加しました。今回は若手精鋭メンバーを中心に2チームで参加し、「楽しくタスキを繋ぐ、怪我無く完走」をスローガンに添え、各自の目標を胸にスタートラインに立ちました。早朝は小雨が降るも、スタート後は雨も止み、比較的暖かい気候にも恵まれ、気持ちよく全員で一致団結してタスキを繋ぐことができました！



同コースでの自己ベスト更新（8分切）を目標に1区で参加させて頂きました。ハイレベルなレースに途中気持ちが砕かれそうになりましたが、チームやラン仲間の声援を追い風に、1秒目標達成でき、満足の大会となりました。 佐伯 厚輔



4年連続の参加です。全区間同一コースなのでベンチマーク的な位置づけもある駅伝です。今シーズンは強度の高い練習はしておらず（きついのでやりたくないだけ）、タイムは出ないかなと思っていましたが、去年と同じくらいで走れ、厚底スーパーシューズの恩恵を実感しました。 松永 健一



絆駅伝に引き続き走らせていただきました。やっぱり駅伝は楽しいです。走るともっとパフォーマンスを上げたくなりました。どのくらい頑張れるかまだ分かりませんが、来年度はさらにレベルアップしたいと思います。 深堀 洋佑



今年もしろへび駅伝に参加させて頂きました。みんなで怪我無く走ることができ、いい思い出になりました。来年は区間賞狙って頑張ろうと思います！ 内田 龍馬



目標にしていた昨年越えを果たし自己ベストも更新できました。この勢いで3月の錦帯橋ロードレース大会もハーフでの自己ベスト更新目指したいです。 渡邊 良平



今大会では走り隊のエースの長田さんが無念の欠場だったので、選手一同は長田さんの走りたいという思いを一身に受けて出場致しました。長田さんのご加護があったため走り隊の出場選手一同は怪我無く無事に完走することができました。長田さん、次回の大会は長田さんの足を引っ張らない様善処します。長田さん次回の大会では一緒に走りましょう！ 浅原 将徳

今年で3回目の出場になります！毎回脇腹の痛みには耐えながら走っていましたが、今回は駅伝の神様が味方して下さり、最後まで痛み無くラストパートをかける事が出来ました！沿道からの温かい応援も力になりました！ありがとうございました！ 高田 梨恵

今回初参加でとても緊張していましたが、メンバーの方々も優しく、楽しく走り切ることが出来ました！ 中村 飛日希

昨年に引き続き、今年もアンカーとして参加させていただきました。チーム目標だった怪我無く完走するを達成できてよかったです。また個人の目標であった昨年の記録を更新するという目標も達成できて嬉しかったです。次走る機会があればまた参加させていただきたいです。 中村 晟矢

興味のある方は、ぜひ一緒に走りましょう！！

## 健康いきいき教室 開催予定表

感染防止対策をおこないながら実施しています。どなたでも無料でご参加いただけます。参加をご希望の方は、外来までご連絡ください。(TEL:0827-21-3211)

時間：15:00～ 場所：本館1階 食堂

開催日	内容	担当
3/16 (月)	治療・合併症・日常生活	看護師
3/19 (木)	食事療法	管理栄養士
3/23 (月)	薬物療法	薬剤師
3/27 (金)	運動療法	理学療法士
4/ 3 (金)	フレイルについて	理学療法士・管理栄養士
4/ 6 (月)	治療・合併症・日常生活	看護師
4/ 9 (木) ※ 13:30～	糖尿病について	医師
4/10 (金)	運動療法	理学療法士
4/13 (月)	薬物療法	薬剤師



当院のホームページに、皆さんの健康維持・増進の手助けとなるようにと作成した「健康づくりパンフレット」を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



# 岩国市医療センター医師会病院 外来診療担当医師

(午前中のみ)

令和 8年 3月 1日現在

	月	医師	水	木	金	土	
消化器内科 (肝臓)		川口 憲二					*毎週火曜日の午前中のみ診療を行っています
糖尿病内科				交替 (山口大学) (広島大学)			*第1・3・5木曜日(10時～14時半)は山口大学の医師が 交替で診療を行っています *第2・4木曜日(9時～12時半)は 卜部 景子(広島大学)が 診療を行っています *完全予約制のため、医療連携室へ詳細はお問い合わせ下さい *栄養指導は、予約が必要です
腎臓内科	福田 雅通	福田 雅通	藤野 修	福田 雅通 藤野 修	福田 雅通	福田 雅通	*第3木曜日は 藤野 修 が担当します *毎月第2水曜日・第3木曜日(13時～17時)に フットケア外来を行っています(完全予約制)
泌尿器科			徳永 貴範 (山口大学)				*毎週水曜日(13時半～16時半)に診療を行っています
小児科	福田 雅通	福田 雅通		福田 雅通	福田 雅通	福田 雅通	*紹介状を必ずお持ち下さい *第3木曜日は 休診 です
緩和ケア内科		中藤 嘉人 (午前)	中藤 嘉人	中藤 嘉人 (午前)			*初診の場合は、必ず 予約が必要です
ペインクリニック内科	熊野 健一 (午前) (再診のみ)	熊野 健一 (午前)			熊野 健一 (午前)	(第1・第3) 原田 英宜 (山口大学)	*毎週 火曜日・金曜日のペインクリニック(痛みの外来)は 予約も可能です 急患や火曜日・金曜日以外の診療については、医療連携室 または直接 熊野 健一 へお問い合わせ下さい *第1・3土曜日(9時～12時半)は完全予約制のため 医療連携室へお問い合わせ下さい
脳神経内科			石橋 はるか (広島大学)				*毎週水曜日(9時～12時半)に診療を行っています (対象年齢：16歳以上) *完全予約制のため、医療連携室へ詳細はお問い合わせ下さい
整形外科	貴船 雅夫 (深堀 洋佑)	貴船 雅夫 (深堀 洋佑) (加藤 慶一)	清水 元晴	深堀 洋佑	交替		*救急と予約診療以外は 午前中 にお願ひします *火曜日の 加藤 慶一は手術のない日に診療を行っています *金曜日は 清水 元晴、深堀 洋佑 が交替で担当します
脳神経外科						(第2) 井本 浩哉 (山口大学)	*毎月第2土曜日 9時半～12時に診療(機能的脳外科)を 行っています(要予約)
放射線診断科	三好 啓介 (山口大学)	交替	東 麻由美 (山口大学)	交替	上田 高顕 (山口大学)		*完全予約制のため、放射線科受付 (21-3224) へ 詳細はお問い合わせ下さい
リハビリ科	繁富 頼雄 柳居 理絵子	松本 彰紘 (広島大学)	柳居 理絵子	繁富 頼雄	柳居 理絵子	木村 浩彰	*初診の場合は、必ず 予約が必要です
療育	茶川 治樹	茶川 治樹	茶川 治樹 西川 美希 (午後)	茶川 治樹 (第1・第3) 西川 美希 (午前)	茶川 治樹	茶川 治樹	*完全予約制のため、療育センター (24-0168) へ 詳細はお問い合わせ下さい

★ 救急は、この限りではありません

★ 紹介状は必ずお持ち下さい

※ 土曜日の午前中は、病院医師1名の当直体制となっています

\* 医療連携室電話番号： ☎ (0827) 21-3225

## 医療相談室についてご案内

疾病に関する医学的な質問、医療安全、医療費、各種申請書、各種証明書、入院生活、健康診断結果等の健康管理に係る相談、保健福祉サービスに関する相談等について、医療安全管理者・看護師・薬剤師・社会福祉士等の各担当者がご相談に対応します。

本館1階受付にお気軽にご相談ください。

受付時間：9:00～17:00(平日)  
9:00～12:00(土曜日)

## 救急センター

岩国市医療センター医師会病院救急センターは、下記の時間に診療を行っています。来院の際は事前に電話でご確認ください。

受付時間 月 曜 19:00～21:30(内科)  
火 曜～土 曜 19:00～21:30(内科・外科)  
日 曜・祝 日 9:00～21:30(内科)  
9:00～18:00(外科)  
9:00～12:00(小児科)  
9:00～11:30(歯科)  
木 曜・日 曜 19:00～21:30(小児科(4歳以上))  
(来院型ワケイ診療)



携帯電話でアクセス!  
左の2次元バーコードを携帯のカメラで読み取り、携帯電話に登録できます。